

# 体育科学習指導案

日時 平成27年10月27日(火)

児童 3年1組

## 1 単元名 ゴール型ゲーム「シュートボール」

### 2 単元について

#### (1) 単元観

本単元は、小学校学習指導要領解説体育編における「Eゲーム(ア ゴール型ゲーム)」に位置付けられている単元であり、主に3つのねらいがある。1つ目は運動を楽しく行い、易しいゲームを通して、基本的なボール操作やボールをもたないときの動きを身に付けること。2つ目は、運動に進んで取り組み、規則を守り仲よく運動をしたり、勝敗を受け入れたり、場や用具の安全に気をつけたりすることができるようになること。3つ目は、規則を工夫したり、ゲームの型に応じた簡単な作戦を立てたりすることができるようになることである。

本単元で取り上げる「シュートボール」は、シュートをする(狙って投げる)、パスをする、キャッチするなどのボール操作(技能)、スペースの移動や取り方、味方と相手の位置関係の認識(思考・判断)、ルールを守って運動をする、互いの声のかけ方(態度)など、上記の3つのねらいの達成に迫ることができる内容によって構成される運動であり、子どもが楽しく進んで活動に取り組むことが十分に期待できるものである。

#### (2) 児童観

1・2年時には、体育のゲーム領域において、たまご割りサッカーや十字鬼ごっこなどの運動を経験している。「ボールを蹴る」「ボールをトラップする」「相手をかかわして走る」などの運動経験をしている一方で、「ボールを投げる」「ボールを受ける」などの運動経験は乏しい実態である。

今回の授業者と児童が出会う時間を1時間設定し、「多様な動きをつくる運動」でボールを操作する運動を行った際、ボールを投げたり、高く上げたり、低い姿勢でキャッチすることにほとんどの児童が楽しく活動できる様子や、ボールを投げたり受けたりすることに難しさを感じている児童が約半数いる様子がうかがえた。

本単元で取り上げる「シュートボール」では、ボールにたくさん触ることができるように配慮する。更に、ねらったところにボールを投げる、ボールを捕る、動きながらのパス回しなどの機会を十分に確保し、動きを高めながら攻防の楽しさを味わえるゲームにしていき、本単元のねらいに迫っていくこととする。

	握力		上体 起こし	長座体 前屈	反復 横とび	シャトル ラン	50m走	立ち 幅とび	ソフトボール 投げ
	左 kg	右 kg	回	cm	点	回	秒	cm	M
学年：3年男子	11.0	11.5	16.5	41.5	38.5	31.6	10.4	135.2	15.2
学年：3年女子	9.6	10.4	14.6	45.8	34.6	23.5	10.6	120.4	8.8
全国：3年男子	12.9	12.9	16.1	29.2	35.1	37.6	10.1	137.5	16.3
全国：3年女子	12.1	12.1	14.8	32	33.5	28.2	10.4	129.3	9.7

※参考資料：附属小学校3学年の新体力テスト数値と全国平均値

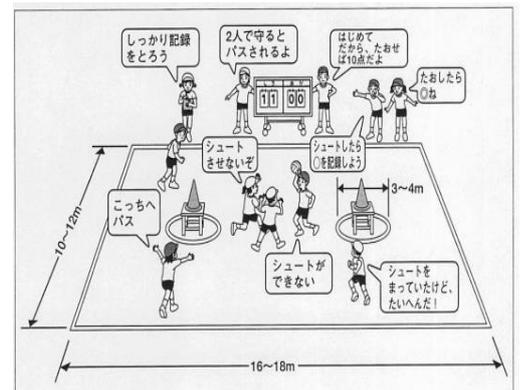
#### (3) 指導観

##### 運動との出会いの工夫～I

上記の子どもの実態と本単元におけるねらいを複合的に考え、本教材を扱うこととした。

##### ※はじめのルール

1. コーンにボールを当てたら1点  
(コーンはまん中に大きいコーン1つ、まわりに小さいコーン4つ)
2. まん中の大きいコーンがたおれたら3点
3. ボールをもってうごけない
4. 相手のボールをうばいとはいけない
5. ぶつかる、おす、たたくなどあぶないプレイはファウルでその場所から相手ボール
6. ボールが横の黄ラインをこえたら、その場所から相手ボール
7. コーンのまわりの黄ラインを、こうげきの人たちが入れないゾーンとする。
8. コーンを守る人は、3人までとする。1人は、「こうげきマン」とする。



ゴール型ゲームの魅力とは、「得点を競い合うこと」である。その魅力を味わうことで、ゴール型ゲームの特徴を知り、得点を決めるためにどうしたらよいか考えていくことができる。「シュートボール」で得点を決めるには、相手のいない所から、コーンをよく狙って当てる必要がある。また、ボールを運ぶための手段はパスであり、スペースを見つけながら、相手のコートへボールを運び込む必要がある。このようにゴール型ゲーム（シュートボール）の特徴を知り、得点を競い合うことで、シュートボールの魅力を楽しむ。

本単元で取り扱う「シュートボール」は「パスのみでボールを運ぶ」という特性から、スペースを探して動き、パスをもらうなど「ボールを持たない時の動き」についての課題に焦点化しやすいことが挙げられる。そのため、獲得させたい技能の習得に迫っていくこと、子どもの思考・判断を引き出しやすくなることが期待される。また、攻撃側が得点に結びつく動きを身に付けるために、数的優位な状況を作り出せるようにする。「攻撃マン」という役割をチームの中で一人決めるようにし、限られたスペースで攻撃の時だけ参加できるようにルールを設定する。このようにして、「得点を決めるため、防ぐためにどのように動かすか」という学習課題をはっきりさせ、進んで運動に取り組もうとする姿を引き出していく。

### ゲームの特性に応じた練習内容の工夫～II

本単元の運動の魅力「得点を競い合うこと」に求め、「体をボールの方へ向ける」「パスでつなぐ」「ボール保持者と自分の間に守備者がいないように移動する」などの動きを高められるよう練習内容を工夫していく。その際、練習内容が単元を通して行うゲームに繋がる内容になるようにすること、ゲーム的な要素を取り入れ、点数化することで動きの高まりを実感できるようにすること、なぜ動きの高まりが見られるようになったのか考える時間を設定することを大切にすること。そうすることで、もっと動きを高めようと活動を工夫し、運動を楽しくしていく姿を引き出していく。

### 仲間との「かかわり」を大切に動きの共有化を図る～III

本単元の運動の動きや技能を身に付けていくためにも、自分の動きと言葉をリンクさせることが重要になる。そこで、授業を振り返る場面で「今日のトレジャー」というコーナーを設定し、学年スローガンに結びつけながら、「今日学んだ事」を整理し、記述する時間を設けることとする。その記述したことは、仲間が書いた「大切な動き（ミンナノチカラ）」として、その時間の最後や、次時の最初の時間に紹介しながら、大切な動きとは何かを共有できるようにしていく。例えば、「敵がいないところへ、移動し、パスをもらえるようにする」「ボールを捕ったら、ゴールに向かって、全員で動く」など、言葉と動きを仲間同士で共有できるようにしていく。そして、ゴール型ゲームの特徴に合った動き方（攻め方）を知り、それらを使って、簡単な作戦を立てることができるようになり、ゲームをより一層楽しく行うことができるようにしていく。

## 4 単元目標

ゲームに進んで取り組むとともに、規則を守り勝敗を受け入れて仲良く運動をし、規則を工夫したり、簡単な作戦を立てたりしながら、基本的なボール操作やボールを持たない時の動きを身に付ける。

## 5 評価規準及び道徳的学び

運動や健康・安全への関心・意欲・態度	運動や健康・安全への思考・判断	運動の技能	道徳的学び
ア 規則を守り、ゲームに進んで取り組もうとする。 イ 友達と励まし合って練習やゲームをしたり、勝敗の結果を受け入れようとしたりしている。 ウ 友達と協力して、用具の準備や片付け、安全を確かめようとしている。	ア ゲームの行い方やルールを知り、みんなが楽しむためにゲームのルールを選んでいる。 イ ゲームの型の特徴に合った攻め方を知るとともに、簡単な作戦を立てている。	ア ゲームに必要なボール操作（投げる、捕る）を身に付けることができる。 イ ゲームに必要なボールを持たない時の動き（スペースを探し適切な場所へ動く）を身に付けることができる。	2-（3）信頼友情 みんなが楽しめるように自分のチームに合った作戦を立てたり、友達と協力し助け合いながら練習やゲームを行ったりする。

## 6 単元計画（全8時間）

時	学習の流れ	教師の働きかけ（自己効力感・自己肯定感）	評価
1	<p><b>【運動との出会い】【試しのゲーム】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>映像を見て、運動の特性やルールを把握する。</li> <li>学習の進め方、ゲームのルールを確認し、試しのゲームを行う。</li> <li>試しのゲームから、「どうやって点をとるか」「どうやって点を防ぐか」の課題意識をもつ。</li> </ul> <p>やってみないとわからない。難しそうだな。</p> <p>サッカーとバスケットが混ざったみたいだね。</p> <p>パスを回して、得点を決めるのが面白そうだな。</p>	<p>☑児童にとって、ルールや動き方が明確な教材を提供し、その運動のもつ魅力などに触れ、意欲を喚起する。I</p> <p>☐運動の特性に気付いたり、励まし合ったりアドバイスをし合ったりしている映像を提示する。I</p>	関ア
<p><b>①学習課題となる主運動に進んで取り組む子ども</b></p>			

2 . 3 . 4	<p><b>【ルールや練習内容の納得】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゲームの中で感じた課題を整理する。</li> <li>・ルールや練習内容の確認を行う。</li> </ul> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 5px;">フェアプレイか条を守って楽しく学習を進めよう。</td> <td style="padding: 5px;">ボール操作が苦手だから、守備だけやろう。</td> <td style="padding: 5px;">前回は上手くパスが繋がらなかったな。</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">ラインのルールをしっかり守らないと行けないね。</td> <td style="padding: 5px;">ゲームをたくさんする学習なら、攻撃も頑張ってみよう。</td> <td style="padding: 5px;">シュートしても、なかなかゴールにあたらなかったよ。</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">攻撃する人は、ボールを持っていないければ、ラインの中に入ってもいいのかな。</td> <td style="padding: 5px;">攻撃するとき、ボールを持っていない人は、どんな動きをすればいいのかな。</td> <td style="padding: 5px;">この練習をすれば、狙ったところに投げることができるね。</td> </tr> </table>	フェアプレイか条を守って楽しく学習を進めよう。	ボール操作が苦手だから、守備だけやろう。	前回は上手くパスが繋がらなかったな。	ラインのルールをしっかり守らないと行けないね。	ゲームをたくさんする学習なら、攻撃も頑張ってみよう。	シュートしても、なかなかゴールにあたらなかったよ。	攻撃する人は、ボールを持っていないければ、ラインの中に入ってもいいのかな。	攻撃するとき、ボールを持っていない人は、どんな動きをすればいいのかな。	この練習をすれば、狙ったところに投げることができるね。	<p>□単元の見直しをもち、ゲームを楽しみながら学習を進められるようルールについて考える時間を設け、納得を図る。</p> <p>効 ゲームをより楽しむために今後必要になるだろう技能を高めるための練習内容を作成し、図式化したカードと参考映像を提示する。Ⅱ</p> <p>□提示した練習内容を実際に試す時間を設定し、ゲームに繋がる動きであることを自覚できるよう肯定的・矯正的にフィードバックしていく。</p>	思ア  思ア
フェアプレイか条を守って楽しく学習を進めよう。	ボール操作が苦手だから、守備だけやろう。	前回は上手くパスが繋がらなかったな。										
ラインのルールをしっかり守らないと行けないね。	ゲームをたくさんする学習なら、攻撃も頑張ってみよう。	シュートしても、なかなかゴールにあたらなかったよ。										
攻撃する人は、ボールを持っていないければ、ラインの中に入ってもいいのかな。	攻撃するとき、ボールを持っていない人は、どんな動きをすればいいのかな。	この練習をすれば、狙ったところに投げることができるね。										

**②運動の特性や魅力に触れ、活動を工夫して運動を楽しくしていく子ども**

5 . 6	<p><b>【学習課題の確認】【練習】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・チームで協力し、練習ポイントの向上を目指す。</li> <li>・技能向上を目指し、動き方に着目し活動する。</li> </ul> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 5px;">シュートは、上手く当てられなくてもどんでん投げよう。</td> <td style="padding: 5px;">動きながらパスをもらえるようにしよう。</td> <td style="padding: 5px;">ボールをワンバウンドさせて、パスをつなごう。</td> </tr> </table> <p><b>【ゲーム】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ルールを守って、声をかけ合い全力で試合に臨む。</li> <li>・ボール操作や、ボールを持たない時の動きによって、攻めたり守ったりする。</li> </ul> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 5px;">よし。円陣を組んで、気合いを入れよう。</td> <td style="padding: 5px;">パスをもらうためには、空いているスペースをねらうぞ。</td> <td style="padding: 5px;">攻撃マンにパスを回してシュートチャンスを増やそう。</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">みんなで声をかけ合えば、いい雰囲気です試合ができるね。</td> <td style="padding: 5px;">そうか。相手のマークをかかわして動けば、チャンスが生まれるのか。</td> <td style="padding: 5px;">パスした後すぐ動くパス&amp;ゴールの動きが重要だね。</td> </tr> </table> <p><b>【振り返り】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・成果や課題を整理し、よりよい動き方を考えていく。</li> </ul> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 5px;">声のかけ合いを大切にして、自分から積極的に動こう。</td> <td style="padding: 5px;">ゴール裏などのスペースをねらう動きを大切にしよう。</td> <td style="padding: 5px;">パス&amp;ゴールや攻撃マンで人数増やす動きを大切にしよう。</td> </tr> </table>	シュートは、上手く当てられなくてもどんでん投げよう。	動きながらパスをもらえるようにしよう。	ボールをワンバウンドさせて、パスをつなごう。	よし。円陣を組んで、気合いを入れよう。	パスをもらうためには、空いているスペースをねらうぞ。	攻撃マンにパスを回してシュートチャンスを増やそう。	みんなで声をかけ合えば、いい雰囲気です試合ができるね。	そうか。相手のマークをかかわして動けば、チャンスが生まれるのか。	パスした後すぐ動くパス&ゴールの動きが重要だね。	声のかけ合いを大切にして、自分から積極的に動こう。	ゴール裏などのスペースをねらう動きを大切にしよう。	パス&ゴールや攻撃マンで人数増やす動きを大切にしよう。	<p>効 練習内容をポイント制とし、技能の向上が図られているか、また、どのような動きをしていけばよいかについて考えるきっかけになるようにする。Ⅱ</p> <p>□技能を高めるため、一人一人がボール操作できる場を保障する。Ⅱ</p> <p>□児童の必要感に応じ、自分達の動きを確認したり、話し合ったりする時間を提供する。Ⅲ</p> <p>肯 得点につながる動き方に対する考え方を広げられるよう、よい動き方の紹介をしたり、課題となる部分を意識できるような場を提示したりする。その際、児童が記述した大切だと思うことを紹介することで大切な動きを共有できるようにしていく。Ⅲ</p>	技ア 技イ  関イ 関ウ  思イ
シュートは、上手く当てられなくてもどんでん投げよう。	動きながらパスをもらえるようにしよう。	ボールをワンバウンドさせて、パスをつなごう。													
よし。円陣を組んで、気合いを入れよう。	パスをもらうためには、空いているスペースをねらうぞ。	攻撃マンにパスを回してシュートチャンスを増やそう。													
みんなで声をかけ合えば、いい雰囲気です試合ができるね。	そうか。相手のマークをかかわして動けば、チャンスが生まれるのか。	パスした後すぐ動くパス&ゴールの動きが重要だね。													
声のかけ合いを大切にして、自分から積極的に動こう。	ゴール裏などのスペースをねらう動きを大切にしよう。	パス&ゴールや攻撃マンで人数増やす動きを大切にしよう。													

**③各種の運動の動きや技能を身に付け、ゲームをより一層楽しくしていく子ども**

7 . 8	<p><b>【学習課題の確認】【練習】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・チームで協力し、練習ポイントの向上を目指す。</li> <li>・技能向上を目指し、動き方に着目し活動する。</li> </ul> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 5px;">コーンに当たる回数が増えてきたぞ。みんな上手くなってきているね。</td> <td style="padding: 5px;">短い時間でたくさんパスが回せるようになってきたね。</td> <td style="padding: 5px;">動きながらパスをするときは、動いている人の前にパスを出せばいいね。</td> </tr> </table> <p><b>【ゲーム】【作戦会議】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作戦を考え、ゲームに生かす。</li> <li>・チームで作戦を意識しながら、攻めたり守ったりする。</li> </ul> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 5px;">円陣の声かけは〇〇君にやってもらおう。</td> <td style="padding: 5px;">味方ボールになったら、全員ゴールに向かって走ろう。</td> <td style="padding: 5px;">パスを回すときはトライアングルにしよう。</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">声で相手を惑わすフェイントができるぞ。</td> <td style="padding: 5px;">ゴールに向かっていき、空いているスペースをねらうぞ。</td> <td style="padding: 5px;">攻撃マンを生かして、有利な状況にするぞ。</td> </tr> </table> <p><b>【振り返り】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・成果や課題を整理し、得点に結びつく動き方を理解する。</li> </ul> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 5px;">ボールを持っていない人が空いているスペースに動くことができたぞ。</td> <td style="padding: 5px;">パスを出す人が相手の下へボールを通していたぞ。</td> <td style="padding: 5px;">パスした人が、ゴールに向かって走り、相手のすきを探して動いていたぞ。</td> </tr> </table>	コーンに当たる回数が増えてきたぞ。みんな上手くなってきているね。	短い時間でたくさんパスが回せるようになってきたね。	動きながらパスをするときは、動いている人の前にパスを出せばいいね。	円陣の声かけは〇〇君にやってもらおう。	味方ボールになったら、全員ゴールに向かって走ろう。	パスを回すときはトライアングルにしよう。	声で相手を惑わすフェイントができるぞ。	ゴールに向かっていき、空いているスペースをねらうぞ。	攻撃マンを生かして、有利な状況にするぞ。	ボールを持っていない人が空いているスペースに動くことができたぞ。	パスを出す人が相手の下へボールを通していたぞ。	パスした人が、ゴールに向かって走り、相手のすきを探して動いていたぞ。	<p>□作戦ボードなどを用意し、実際の動きをチーム内で確認できるようにしておく。</p> <p>効 練習内容をポイント制とし、技能の向上が図られているか、また、どのような動きをしていけばよいかについて考えるきっかけになるようにする。Ⅱ</p> <p>□技能を高めるため、一人一人がボール操作できる場を保障する。Ⅱ</p> <p>□児童の必要感に応じ、自分達の動きを確認したり、話し合ったりする時間を提供する。Ⅲ</p> <p>肯 今までの学習で集めてきた動きをもとに簡単な作戦を立て、動いていた子どもを価値付け、動きの質が高まってきたことを自覚させる。Ⅲ</p>	関イ ウ  技ア イ  思ウ
コーンに当たる回数が増えてきたぞ。みんな上手くなってきているね。	短い時間でたくさんパスが回せるようになってきたね。	動きながらパスをするときは、動いている人の前にパスを出せばいいね。													
円陣の声かけは〇〇君にやってもらおう。	味方ボールになったら、全員ゴールに向かって走ろう。	パスを回すときはトライアングルにしよう。													
声で相手を惑わすフェイントができるぞ。	ゴールに向かっていき、空いているスペースをねらうぞ。	攻撃マンを生かして、有利な状況にするぞ。													
ボールを持っていない人が空いているスペースに動くことができたぞ。	パスを出す人が相手の下へボールを通していたぞ。	パスした人が、ゴールに向かって走り、相手のすきを探して動いていたぞ。													

<p><b>【シュートボールの学習の振り返り】</b></p> <p>できないことがあっても、協力しながらやると楽しかった。</p> <p>得点を決めるためには、その周りの人の動きが重要だとわかった。</p> <p>練習とゲームを繰り返して、だんだん投げる技能が高まった。</p>	<p><b>肯</b>単元を振り返ることで、自分が変わったことや身に付いたことなどを自覚できるような時間を設定する。</p>
--	--

7 本時について（7／8時間目）

(1) 研究とのかかわり

本時においては、主に研究の視点Ⅱ、Ⅲについて、手立てを講じていくことになる。

手立てⅡでは、練習内容が単元を通して行うゲームに繋がる内容になるようにすること、ゲーム的な要素を取り入れ、点数化することで動きの高まりを実感できるようにすること、なぜ動きの高まりが見られるようになったのか考える時間を設定することで動き方などの活動を工夫していく児童の姿を目指していく。

手立てⅢでは、チームでゲームを振り返る時間や授業の始めに動き方を確認する時間を設定し、得点につながる動き方に対する考え方を広げられるよう、よい動き方の紹介をしたり、課題となる部分を意識できるような場面を提示したりしていく。その際、児童が書いた大切だと思えることを紹介し、動きと言葉をリンクさせていく。そうすることで、よりよい動き方を理解しながら、その動きを身に付け、ゲームで生かしていく姿を目指していく。

(2) 本時の目標

シュートボールの特徴に合った攻め方を知り、その攻め方をゲームに生かそうとしている。(思考判断Ⅰ)

(3) 本時の展開

○児童の主な学習活動	□教師の働きかけ・留意点 (自己効力感・自己肯定感)	評価 個に応じた指導 (△発展的 ▲補充的)
<p>○学習課題を確認し、前時までの成果を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コーンに当てる回数が増えてきたぞ。</li> <li>・素早いパス回しができるようになってきたね。</li> <li>・キャッチが上手くなっているからパスをたくさん回せるね。</li> </ul>	<p><b>効</b>前時までの取り組みで学びの成果があることを自覚させ、今日の学習でも技能を高めたり、学んだ事をゲームで生かしたりしながらやってみようという意欲をもてるようにする。</p>	
<p><b>チームみんなで協力し、チーム全員でシュートをねらうぞ！</b></p>		
<p>○練習を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャッチ&amp;パスゲームでは素早く動くぞ。</li> <li>・コーンをよく狙って、カバーもしよう。</li> <li>・ボールから目を離さずに、動くよ。</li> <li>・敵を交わして、フリーの味方にパスしよう。</li> </ul> <p>○チームの作戦（動き方）やゲームにおける役割を確認し、ゲームを進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今日は、みんなでこうやって動こう。</li> <li>・僕の役割は、これだね。みんなの動きを見ておこう。</li> <li>・パスがうまく繋がって、ゴールを決めたぞ。</li> <li>・シュートする前のパスがすごくよかった。</li> <li>・攻撃の人数を増やすとチャンスが増えるね。</li> </ul> <p>○ゲームをふり返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パスした後で大切なことは・・・。</li> <li>・攻撃マンの動き方は・・・。</li> <li>・シュートがうまくいかなかったときは・・・。</li> <li>・ボールをもっていない人は・・・。</li> <li>・シュートを狙うときは・・・。</li> </ul> <p>○ふり返ったことを生かして、どう動くかなど簡単な作戦を考えたり、練習をしたりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大切な動きを確認して練習するぞ。</li> </ul>	<p>□単元で学んできたことを確認し、現時点のチームの課題をはっきりさせる。</p> <p>□ボールを投げる、捕る、スペースを狙って動くなどの技能を身に付けることができるよう練習の場を設定する。</p> <p><b>Ⅱ</b></p> <p>□ゲームに参加している児童に対しては、よい動きを価値付けたり、態度面におけるよさを価値付けたりする。</p> <p>□ゲームに参加せずに待ちながらもそれぞれの役割を果たしている児童に対しては、どうすればよい動きになるのか思考を促す言葉かけをする。</p> <p>□自己やチームでうまくできたことを記述する時間を設定する。</p> <p><b>効</b>ゲームをふり返る際、児童が記述した大切な動きを紹介し、動きと言葉をリンクさせやすいようにする。<b>Ⅲ</b></p> <p><b>肯</b>よりよい動きを板書し、学びの蓄積を可視化できるようにする。<b>Ⅲ</b></p> <p>□練習をする場とミーティングをする場を分けて、簡単な作戦を考えるチームとふり返ったことを生かして練習するチームが交錯しないよう配慮する。</p>	<p style="text-align: center;">【技能～観察】</p> <p>△周りに目を向けさせ、肯定的に言葉かけができるように促す。</p> <p>▲ゲーム中、動き方がわからず困っている児童には、矯正的に言葉かけを行う。また、少しでもよくなった動きを価値付ける。</p> <p style="text-align: center;">【思考判断～観察,学習カード】</p> <p>△よりよい動きの説明をしてもらい、知識をより確かなものにする。</p> <p>▲可視化した学びの蓄積をもとに、どんな動きをすればよりよくなるのか意識できるように確認する。</p> <p style="text-align: center;">【思考判断～観察,学習カード】</p>

